

トピックス

大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

紀伊半島大水害からの復旧に向けて 治山対策の実施について

平成23年9月に発生した紀伊半島大水害から本年度で5年を迎えます。今号では、この災害の発生当時の状況、これまでの復旧の様子と現在の取組みについてご紹介します。当時、自転車並みのゆっくりとしたスピードと言われた台風12号が年降水量の6割に達する記録的な大雨をもたらし、9月5日の未明を中心に奈良県や和歌山県で大規模な山地災害が多発、多くの方が犠牲となる大災害となりました。

これを受け、林野庁近畿中国森林管理局では、奈良・和歌山両県と合同調査を行うとともに、両県からの要請を受け、民有地の大規模災害復旧（「民有林直轄治山事業」）に着手致しました。（奈良県内：13区域、和歌山県内：6区域）



【森林管理局・署職員と関係県との初動対応状況】

これまでに、国道等の生活の場に近い箇所から治山ダムの設置や崩壊地の復旧を順次進め、一部区域では復旧工事が完了したところです。



【崩壊地の復旧事例：奈良県十津川村

おりたち
折立区域】【崩壊地の復旧事例：和歌山県田辺市、しょうぶだに
菖蒲谷区域】

他方で、災害発生当時「^{しんそうほうかい}深層崩壊」と呼ばれ注目をされた崩壊地（山が深くえぐられて大量の土砂を流出した崩壊地）など規模の大きい区域では、治山ダムの設置等工事を着実に進めてきているものの、まだ復旧途上の段階です。

現在、奈良森林管理事務所及び和歌山森林管理署では、全力でその復旧の対応に当たっております。



【事業実施状況：奈良県十津川村 ^{にごりだに}濁谷区域】



【事業実施状況：和歌山県田辺市 ^{かみへいじがわ}上平治川区域】



【奈良所、和歌山署職員の現場監督、現地での調整状況】



地域の方が安心して暮らして頂けるようこれからも継続的に事業を実施して参りますので、引き続き、治山事業へのご理解・ご協力をお願いいたします。

ニュース

平成28年度
森林環境教育教員研修

【箕面森林ふれあい推進センター】 箕面森林ふれあい推進センターでは、森林を活用した環境教育の理解を深め、学校等教育機関での実践・普及に取り組んでいます。7月28日（木）、箕面国有林「勝尾寺園地」において、大阪府の箕面市教育委員会と共催による、平成28年度



森林環境教育教員研修を開催しました。

参加者は、箕面市内の小中学校の経験2年目教員28名及

び豊能町教員2名の計30名（小学校18、中学校12）と、スタッフとして京都教育大学山下宏文教授、大阪府立箕面公園昆虫館久留飛克明館長、大阪森林インストラクター会6名、きんきちゅうごく森林づくりの会4名、箕面市教育委員会1名、森林管理局関係5名の計48名が参加しました。

開会にあたり、箕面森林ふれあい推進センターの才本所長より、「この研修をきっかけにして、学校教育の場で森林環境教育を実践してほしい」と挨拶。午前中の講義では、山下教授より「森林環境教育の重要性と進め方」と題して、小学校の各教科で、森林や里山がどう取り扱われているか、森林環境教育のポイント（体験する、知る、かかわる）、次期学習指導要領改訂の中で求められる「主体的・協働的な学び」として森林環境教育の有効性などについて講義があり、参加者からは、「箕面の身近な自然環境を活かした環境教育に取り組みたい」「自然の大切さを学ばせたい」「5年生の授業で、具体的な指導に役立つ」など、授業に活かしていきたいとの意見の外に、「今まで木を伐ってはいけないと思っていたが、そうではないことを理解した」との意見もあり、教員の皆さんにもっと森林について理解してもらう必要があると感じました。



続いて、久留飛館長より「昆虫きらいにならないで」と題して、近畿農政局の資料（昆虫の不思議）などを参考に講義を行いました。胴体のこと、複眼のこと、羽の

こと、飛び方のことなど昆虫の特徴や幼虫から成虫への変化のしかたの違いなど、子どもが「なぜ」と思う視点で参加者に問いかけ、昆虫のすばらしさと不思議さについて考えさせる内容でした。参加者からは、「子どもたちに話してみたい内容が多くあった」「虫についてまだまだ知らないと実感した」「なぜ？と疑問をもつことの大切さを学んだ」など、多くの感想が出されました。

午後から、大阪森林インストラクター会の指導で、野外ゲームを行いました。自分の背中につけられた生き物の名前を相手に質問しながら当てる「動物交差点」、歩道を散策してビンゴカードに書かれた16項目を探す「フィールドビンゴ」、班毎に集めた葉っぱで「大きな葉っぱ」など



指導者のお題に合わせて勝負する「葉っぱじゃんけん」

を行いました。参加者からは、「大変楽しかった。子どもたちにもさせてほしい」「ネイチャーゲームはとてもよい体験でした」



「子どもたちが自然にどんどん親しんでいく様子が思い浮かんだ」など、学校の授業での活用が期待できる感想が出されました。

最後に、箕面森林ふれあい推進センター考案のジオラマ作りを体験してもらいました。初めに、森林と水との関係についての話をし、きんきちゅうごく森林づくりの会メンバーが指導しながら作成しました。「自然について勉強した後に作るので、より大切にしたい気持ちが強くなった」「子どもたちとやってみたい」「作品作りは楽しかった」などの感想が出され、すてきな作品ができあがりました。



終わりに、箕面市教育委員会の松田課長補佐から「身近なところに大変すばらしい箕面の森があることを知ってもらいたい。そして、教員研修が共催で長く続いているのは箕面森林ふれあい推進センターなど、協力体制が

あることも知ってもらい、子どもたちの環境教育に取り組んでもらいたい」と実践への期待を込めた挨拶で、研修を終了しました。

受講した教職員へのアンケート結果では、「研修を受講して、森林環境教育は必要だと思いますか」との質問に対して、小学校教員で回答者 18 名中 17 名が必要と回答し、中学校教員でも回答者 9 名中 8 名が必要との回答がありました。しかし、実際に授業が行われているかを聞いたところ、行われているとの回答は小学校教員 7 名、中学教員 4 名との回答となっており、「授業時間の問題」「準備での負担が大きい」などの意見が出されました。今回の研修受講が実践的な森林環境教育に繋がることに期待し、箕面森林ふれあい推進センターでは、引き続き実践での支援や体験学習の場の提供などに取り組んでいきたいと考えています。

「森と水の学習会」を開催

【広島北部森林管理署】 7月25日（月）広島北部森林管理署とアサヒの森環境保全事務所、森林総合研究所広島水源林整備事務所は、甲野村山森林共同施業団地内のアサヒの森（庄原市比和町）において、庄原市立比和小学校5・6年生児童16名を対象に、「森と水の学習会」を開催しました。

この学習会は、自然体験を中心とした学習を、この時期に毎年継続して実施しているもので、今年で8年目の開催となります。

開会にあたり米田広島北部森林管理署長から、「今年から8月11日が「山の日」として祝日となった。今後、多くの方々が、森林と親しみふれあう機会が増えてくる。児童の皆さんは、今日一日森の中でしっかりと森林にふれあってほしい。」と挨拶がありました。

まず最初に、森林ボランティア団体「びほく・森のサポーターズ」による紙芝居「森林からのおくりもの」や、

アサヒのスタッフによる「水の浄化実験」などで森林の働きなどについて学びました。



続いて、広島水源林整備事務所から、私たちの身近で使われている桜や杉など「木へん」のつく漢字についてクイズを行い、その漢字や木の言葉などを楽しく学びまし

た。まだ学校では習っていない漢字もありましたが、多くの児童が元気よく手を上げて正解していました。

自然観察では、3班に分かれ、森林管理署職員やアサヒのスタッフの案内で、歩道沿いにある植物を中心に観察を行い、「クロモジ」のさわやかな香りや「ハクウンボク」の葉のフワフワした手触りを感じたりと五感を働かせながら観察を行いました。

また、途中では、谷から水が湧き出している様子を見たり冷たい水に触れるなど、森林の働きなどを直接感じ取っていました。



午後から実施した丸太切りでは、「のこぎり」を使ってヒノキ間伐木の輪切りを行い、飽きることなく一人で二度三度競って挑戦していました。

その後、木工教室では、大きさの違う木の輪切りを貼りあわせて作ったフクロウのキーホルダーや木の小枝を使ったカブトムシなどのクラフト作りを行い、自然の素材にふれながら、たくさんの作品を作りました。作品の中には、丸太切りで自分で切り落としたヒノキの輪切りを作品の土台に使うなど、アイデアいっぱいの作品が出来上がっていました。



閉会にあたり教頭先生から、「森と水の学習会」で学んだ自然体験が、子供たちの人間形成や地域の人材育成、自然を知るきっかけに繋がっていると感謝の言葉を頂きました。



地元大学生に現地見学会

【島根森林管理署】 7月14日（木）、島根県奥出雲町にある船通山国有林及び八川国有林において、島根大学の学生を対象に、業務説明会を実施しました。当日は、4年生4名ほか6名の学生の参加がありました。



前日の予報に反し、当日は朝から好天の中、登山口駐車場で林野庁の業務説明を行った後、船通山への登山を開始しました。

途中、「船通山林木遺伝資源保存林」、「船通山風景林」の概要、林内の樹木の説明を行いながら山頂へ到着。

昼食となったところで、突然のにわか雨に遭遇し、あわてて雨具を着ての下山となるアクシデントはありましたが、道々林野庁の業務に関する質問もあり、皆さん元気に登山口まで下山しました。

その後、八川国有林に移動し、民有林と連携した施業を実施している「森林共同施業団地」の説明を行いました。現地では、森林施業に関する質問等が活発に出され、意見交換を行うなど、学生さんたちにとって有意義な1日となったようでした。



今回参加した学生さんたちには、是非、林野庁へ入庁していただければと期待しています。

お知らせ

「大山森林生態系保護地域自然観察会」の開催について

伯耆富士大山の大部分は国有林（国所有の森林）で、そのうち約3200haを森林生態系保護地域に設定して、林野庁がこれらの保護・保全を図っています。

今回はこの生態系保護地域の東側に当たる大山滝周辺の自然を楽しみつつ、森林の重要性等を皆さんに理解してもらうため、自然観察会を企画しました！

* 日時・集合

10月23日（日曜日） 10：00～15：00
一向ヶ平キャンプ駐車場（鳥取県琴浦町野井倉）

* コース

一向ヶ平キャンプ場～大山滝

* 定員・締め切り

先着30名（申込先着順。10月12日（水）まで）

* 対象者・参加費

健康で登山できる人（小学生以下は、保護者同伴）
無料（ただし、保険料として一人当たり100円が必要）

* 持ち物など

昼食、飲み物、雨具、防寒着、手袋。
また、筆記用具、ゴミ袋、双眼鏡などがあると便利です。
登山できる服装・靴・装備でご参加ください。

* 申し込み方法

電話・FAXにより、受付します。（詳細は、ホームページをご確認ください。）

「住所・氏名・年令・連絡先電話番号」をご連絡ください。

* 問い合わせ・申込受付

鳥取森林管理署 業務グループ

TEL：050-3160-6125 FAX：0857-23-5412

HP：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/tottori/information/event_boshu.html

産官学共催セミナー 「国産早生樹林業によって何ができるのか」

国内の様々な地域で行われている早生樹植林や活用方法について深く議論し、更なる関心を高める目的でセミナーを開催します。

* 日時 9月16日（金）13：00～

* 会場 近畿中国森林管理局 4階大会議室

* 定員 100名（一般公募）

* 問い合わせ・詳細 HP

近畿中国森林管理局 森林整備部技術普及課

TEL：050-3160-3482 担当：中村、徳田、西田

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/sidou/160830.html>

古都奈良に見る 木の文化と森づくり

第7回「春日奥山古事の森」普及啓発イベントが開催されます。

●古事の森とは？ 日本の木の文化の象徴である伝統的な木造建築物を後世に伝えていくために、200～400年かけて太く、長くかつ良質な修復・再建用材を育て、また、伝統的な木造建築物と森林のかかわりについて皆さんに知っていただくことを目的に、全国10箇所の国有林に設定している森林です。

* 開催場所

春日大社 感謝共生の館

* 開催日時

12月10日（土）10：00～15：30

* 定員・締切

先着200名・11月21日（月）必着

* 【第1部】講演とパネルディスカッション

10：00～12：30

基調講演では、専門家から分かりやすい樹木の歴史を、パネルディスカッションでは、パネリストから古都奈良における木の文化等の話を語っていただきます。

* 【第2部】伝統文化を支える国有林：春日大社御本社わかみやおたひしよおかりでん

と若宮御旅所御仮殿の拝観 13：30～15：30
国産の檜皮（ひわだ）を用いて式年造替が済んだ御本社と、国有林産の松を使った若宮御旅所御仮殿を神職の案内で見学します。

* 申込み方法

FAX・はがき・メールにて【〒住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・参加希望（一部のみ・一部二部とも参加）】を参加者全員分を明記の上ご応募ください。

* その他

参加費は、お一人500円です。

参加決定者には「参加通知ハガキ」を送付します。
（11/25以降順次送付予定）

当日受付にご提示のうえ、参加費をお支払いください。なお、参加費はお釣りがないようご協力をお願いします。

* お申込み・お問い合わせ

奈良森林管理事務所「春日奥山古事の森」事務局
〒630-8035 奈良県奈良市赤膚1143-20
TEL：0742-53-1500 FAX：0742-53-1502
HP：<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/nara/index.html>

「地域管理経営計画等に関する有識者懇談会」の委員の募集について

森林計画検討委員の一員として、近畿中国森林管理局管内の国有林野の管理経営についての議論に参加していただける方を募集します。

* 募集人員 1名

国又は地方公共団体の議員、常勤の公務員、国の行政機関の出身者等は原則として委員になることはできません。

* 募集締切 9月28日 必着

* 応募方法 出題テーマから1つを選択し、近畿中国森林管理局に対する意見・提言等を1,000字以内（任意様式）にまとめ、住所、氏名、生年月日、性別、職業、電話番号をご記入の上、写真を貼付した履歴書を添えて提出してください。（詳しくはHPをご参照ください。）

* 応募・お問い合わせ

近畿中国森林管理局 計画保全部 計画課 企画係

TEL：06-3881-3470

HP：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/keikaku/160829_iinboshu.html

調査設計会社との技術 検討会の開催について

林業専用道等調査設計関係事業体の皆様との技術検討会を開催しますので、お知らせします。

* 開催日時：11月7日（月）13時～8日（火）12時

* 場所：近畿中国森林管理局 4階大会議室

* 申込締切：10月14日（金）

* 詳細はHPをご確認ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/seibi/160906.html>

森林のギャラリー（局庁舎1階）

【9月のテーマ：森林の絵画展】

9/12～9/20 スケッチ教室グループ展2016

【みのむしぶる】

9/21～9/28 近代大阪づくし 【竹扇会 (10)】

【10月のテーマ：木づかい】

9/29～10/7 「森林の市」各署紹介ほか

【企画展示（技術普及課）】

10/11～10/16 花と水彩画の癒しの空間

【花クラフト ソレイユ】

シリーズ『国有林 最前線！』

鳥取森林管理署 首席森林官（鳥取・佐治担当区）

鳥取森林事務所は鳥取市にあり、管轄区域は鳥取担当区と佐治担当区^{さじ}の国有林 5,749ha、官行造林地 384ha を管理しています。鳥取担当区は旧城山^{きやうじやま}国有林をはじめとする都市近郊林が多く管理・測定等の業務が中心で、住民からの要望等が多くあります。一方、佐治担当区は山王谷^{さんおうたに}国有林をはじめ造林・生産等の業務が中心で請負事業監督等が主な仕事となります。

旧城山国有林には、戦国時代に織田信長の中国征伐で羽柴秀吉が吉川経家の鳥取城を包囲し、兵糧攻めを行った時に本陣を張った史跡「太閤ヶ平（たいこうがなる）」があり、現在も土塁に囲まれた本陣跡が残っており、静寂の中で凜とした空気が漂い、時が偲ばれます。また、周囲一帯は鳥取自然休養林となっており、保安林管理道を利用したウォーキング等で年間を通じて多くの市民で賑わっています。

山王谷国有林は、その昔、森林鉄道での木材搬出が盛んに行われており、現在も残る軌道跡を利用して「ふれあいの森」が設定され、小中学生の貴重な学習の場となっています。また、中腹の谷筋には鳥取市指定の天然記念物の「門枒」があります。もともとは2本が門のように立っていたようですが、豪雪のため倒れ現在は1本になってしまったようです。500年以上も風雪に耐えた幹回り 777 cm（胸高直径 247 cm）、樹高 30m の堂々とした姿に圧倒され自然と頭が下がります。

森林官の仕事は「山を歩いてなんぼ！」の世界だと思っています。暑い日、寒い日、雨の日、雪の日と大変な日も多くありますが、自然相手の素晴らしい環境の中で仕事ができることに感謝して、今日も元気に山へ行ってきます。！！



「門枒」：旧城山国有林



「太閤ヶ平から望む鳥取城址」：旧城山国有林

島根森林管理署 出雲神話の舞台「船通山国有林」



船通山遠景



ブナ新緑

一帯は「比婆道後帝釈国定公園」に指定され、国有林 53.56ha が「船通山風景林」に指定されています。

また、ブナ・ミズナラ等を後世に引き継ぐため、34.17ha が「船通山林木遺伝資源保存林」に指定されており、当地の特徴的な自然環境の維持・造成に必要な森林施業を行うこととしています。

一方、山麓の人工林は保安林に指定されており、水源かん養機能を発揮させるための適度な間伐等の森林整備を行っています。

発生した間伐材で利用可能なものは森林資源の有効活用のため、近隣の木材市場等で販売を行っており、林産物の安定供給や地域の再生可能エネルギー利用の取組等に役立っています。

出雲市を流れる斐伊川の源流である^{せんとうざん}「船通山」は、出雲神話で高天原を追放された須佐之男命（すさのをのみこと）が降臨し、八岐大蛇（やまたのおろち）退治の舞台となった場所と言われています。

山頂には退治した八岐大蛇の尾から出てきた天叢剣（あめのむらくものつるぎ）の記念碑があり、この建立を記念して毎年 7 月 28 日の宣陽祭では勇壮な神楽が奉納されます。

標高 1,143 m の山頂からは広く四方が展望でき、大山や比婆山連峰、晴れた日には三瓶山や島根半島、条件が整えば遠くに隠岐島も見ることができるなど、360 度のパノラマが楽しめます。

登山道周辺はブナを主体とする広葉樹林が続き、船通山の代表的な花『カタクリ』が 4 月中旬から 5 月上旬にかけ可憐な薄紫の花を咲かせます。『カタクリ』はユリ科の植物で、花が咲くまで 7～8 年がかかり、船通山頂上では珍しい群生を見ることができます。



天の叢雲の剣



カタクリ群生



カタクリ



第17回天満音楽祭同日開催
おおさか山の日関連イベント

遊んでさわって 食べてみて
森林のめぐみを
体験！体感！



水都おおさか

森林の市

も り

2016

入場
無料

平成 10月2日(日) 10時～16時 雨天決行
28年 (荒天中止)

会場：近畿中国森林管理局・毛馬桜之宮公園

JR環状線「桜ノ宮駅」
西出口から徒歩5分

会場内に駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください